

**トムス
ハイパー
コンプレッサーキット
トヨタ86用**

13600-NZN60

取り付け／取り扱い説明書

- ◆ お取り付け及びご使用前に必ず本書をよくお読みください。
- ◆ 本書は大切に保管し、本製品を譲渡する場合は必ず本書も譲渡してください

目次

【1】	事前に準備いただくもの	1
【2】	はじめに	2
【3】	適応車種	2
【4】	ご使用時の注意事項	2
【5】	エンジンECUについて	2
【6】	保証について	3
[1]	保証期間	3
[2]	保証の受け方	3
[3]	保証をしない事項	3
[4]	保証対象外費用	3
【7】	構成部品表	4
【8】	構成部品図	6
【9】	取り付け	8
[1]	純正部品はずし	8
[2]	組み付け	12

【1】 事前に準備いただくもの

作業を開始する前に以下のものを事前に準備してください。

注文は全国のトヨタ部品共販となります。

部品

マニホールドガスケット	SU003	00290	2
インジェクターOリング No. 2	SU003	00324	4
スロットルボディガスケット	SU003	00316	1

【2】はじめに

このたびは、トムスハイパーコンプレッサーキット（トヨタ86用）をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品の取り付けを以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は、「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、当社技術までお問い合わせください。本製品の内容及び付属品は、改良のため予告無く変更することがございますのでご了承ください。本取り付け説明書は各車両の脱着分解図を掲載してあります。更に詳しい内容については、各車両の修理書を参照して下さい。

【3】適応車種

本製品は以下の車種に対応しています。（H26年3月現在）

トヨタ86（ZN6）（H24年12月～

【4】ご使用時の注意事項

以下の注意事項を守らない場合、エンジンの破損に伴う事故となりますので十分ご注意ください

1. 本製品を装着すると、エンジンの燃焼効率が改善され、エンジンの性能が向上いたします。ブレーキの性能を確認し、十分な制動力を確保して走行してください。
2. エンジンの過回転（回転計の「レッドゾーン」以上の使用）はエンジン破損につながります
3. 装着後、エンジンチェックランプが点灯したり、エンジンに著しい異常（振動、異音、黒煙の排出等）を感じた場合はただちに使用を中止し販売店等に連絡してください
4. 取り付け後、数キロ走行した後に、ボルトの緩みやベルトの干渉、ガソリン、冷却水の漏れ等をチェックしてください。
5. **ガソリンは必ず「無鉛ハイオク」をご使用ください。レギュラーガソリンや粗悪ガソリンを使用するとノッキングをおこしエンジンが破損する場合があります。**
6. エンジンオイル・オートマチックトランスミッションオイルは通常よりこまめに交換してください
推奨交換時期 エンジンオイル5000KmごとATFオイル20,000Kmごと
7. 本コンプレッサーを装着した場合、エンジン始動時に「キュッ」という音がする場合がございます。純正ベルトが瞬間的にスリップする音ですが、走行等に支障ありませんので、ご了承下さい。

Vベルトは亀裂、ゆるみ、部品との干渉などをこまめに点検してください。

【5】エンジンECUについて

1. 車両に装着されている純正ECUに下記の送付用紙をコピー添付して弊社に発送してください。その際、純正ECUに装着されている**取り付けブラケットを必ず外し**お客様にて管理してください。
 2. 純正ECUをTEC IIに変更の際、弊社に純正ECU到着後、2週間程度車両が動かせなくなります
 3. お客様より弊社に送付される際の運賃はお客様にてご負担ください。
- 送付先〒158-0082 東京都世田谷区等々力 6-13-10(株)トムス営業部宛
TEL03-3704-6191/FAX03-3704-9486

TOM'S T.E.C. II 送付用紙 for HYPER COMPRESSOR KIT					
該当品番（必ずご記入下さい） 13600-T					
お客様お名前	TEL				直送先 （○印必ず記入）
住所（お客様用）					
ご担当販売店名 ご担当者	TEL FAX				
住所					
共販・代理店 ご担当者	TEL FAX				
住所					

【6】保証について

本製品について製造上の不具合が発生した場合、下記の期間と条件に従ってこれを無償修理（保証修理）いたします。保証修理は部品の交換または補修により行います（製品の返品等はお受けいたしません）。また、取り外した不具合部品は（株）トムスの所有となります。

[1] 保証期間

➤ 保証修理の対象期間は以下の通りです

製品お買いあげ後1年間。但し期間内であっても装着後走行距離20,000Kmまで

[2] 保証の受け方

保証を受ける場合は、販売店に車両を持ち込み、保証書を提示の上保証修理をお申し付けください。原則として不具合部位を取り外し、（株）トムス宛ご返却いただき、調査後トムスにて現品を修理もしくは交換しご返却いたします。

[3] 保証をしない事項

➤ 上記保証期間内であっても、下記の場合は保証の対象外となります

- 1 本書に添付されている保証書に販売店押印、装着時走行距離および購入日の記載のない場合、または字句を書き換えられた場合
- 2 保証書の提示がない場合
- 3 使用損耗あるいは経年変化による劣化など、製造上の不具合と認められない場合
- 4 登録後4年を経過した車両または走行距離が50,000Kmを超えるエンジンに装着した場合
- 5 輸送中の不具合
- 6 レース・ラリー等通常の使用状態と異なる使用方法による破損・不具合
- 7 指定のガソリン（無鉛ハイオク）以外のガソリンおよび粗悪ガソリン等の使用による不具合
- 8 エンジンオイル・ATFオイルのメンテナンス不良に起因する不具合（推奨メンテナンス；エンジンオイル5,000Kmごと、ATFオイル20,000Kmごと交換）
- 9 地震、台風、水害等の天災並びに事故、火災によるもの。また薬品、融雪剤、塩害、飛石等の外部要因によるもの
- 10 消耗品（Vベルト、ゴムホース類、ガスケット等）の破損・不具合
- 11 本書に指示のある調整以外の調整をおこなった場合（例、規定以上にブーストを上げた場合など）、また、純正およびトムス指定以外の吸排気系部品や電子部品の装着によるもの
- 12 取り付け作業時や分解時のまちがい、不備
- 13 機能上影響ない「感覚的現象」および本製品特有の現象
- 1) コンプレッサーの過給音等（過給時キーン音、クラッチ断続時のカチャッ音など）
- 2) 機能上差し支えないオイルにじみ
- 3) 本製品が主原因でない振動・ハーシュネス

[4] 保証対象外費用

➤ 以下に示すものの費用は負担いたしません

- 1 自動車を使用できなかったことによる不便さおよび損失等（電話代、レンタカー代、宿泊費、休業補償、営業損失等）
- 2 脱着工賃

【7】 構成部品表

▶ 本品は以下のパーツで構成されています。欠品等を確認して下さい

※「非付属品」はお客様に購入していただく部品です。トヨタ部品共販にご注文ください。

イラストNo.	品名	品番		個数	備考
13507	アイドルプーリー	13507	TZN60	1	トヨタ品番 16604-31010
14000	コンプレッサーASSY	14000	TZN60	1	
14040	インテークマニホールド LH	14040	TZN60	1	
14050	インテークマニホールド RH	14050	TZN60	1	
14060	インテークパイプ LH	14060	TZN60	1	
14070	インテークパイプ RH	14070	TZN60	1	
14110	アイドルプーリーブラケット	14110	TZN60	1	
14210	ウォーターポンプホース	14210	TZN60	1	
14220	キャップ, ニップル Φ10	14220	TZN60	1	オートマチック車のみ使用
14230	インタークーラー インレットホースNo, 1	14230	TZN60	1	内径Φ16,L=1300
14240	インタークーラー インレットホースNo, 2	14240	TZN60	1	内径Φ16,L=950
14250	スロットル ヒーター ホース	14250	TZN60	1	内径Φ8,L=500
14260	ブリーザー ホース	14260	TZN60	1	内径Φ13,L=1100
14270	リザーバー ホース	14270	TZN60	1	内径Φ8,L=950
14280	インテークパイプ ホース	14280	TZN60	4	
14290	エアインレットダクト ホース A	14290	TZN60	2	
14310	キャップ Φ40	14310	TZN60	1	
14320	キャップ Φ31	14320	TZN60	1	
14510	ステー A	14510	TZN60	1	
14520	ステー B	14520	TZN60	1	
14530	ステー C	14530	TZN60	1	
14540	ステー D	14540	TZN60	1	
14550	ステー E	14550	TZN60	1	
14560	ステー F	14560	TZN60	1	
14570	ステー G	14570	TZN60	1	
14580	ステー H	14580	TZN60	1	
14590	ステー I LH	14590	TZN60	1	
14591	ステー I RH	14591	TZN60	1	
14600	ステー J	14600	TZN60	1	
14610	ステー K	14610	TZN60	1	
14810	エアインレットダクト A	14810	TZN60	1	
14820	エアインレットダクト B	14820	TZN60	1	
16290	ウォーターポンプ	16290	T3UZ0	1	
16361	Vベルト、コンプレッサー2445mm	16361	T1UR0	1	6PK-2445mm
16659	アイドルプーリーカバー	16659	31011	1	トヨタ品番 16659-31011
17140	HOSE JOINT Φ10.5	17140	TZN60	1	
17956	3 ウェイ	17956	SC740	1	
17960	ラジエター	17960	SC740	1	
17975	クランプ、ウォーターポンプ	17975	SC740	1	
17980	ホースクランプ Φ40~55mm	17980	TZN60	8	
17990	ホースクランプ Φ70~90mm	17990	TZN60	4	

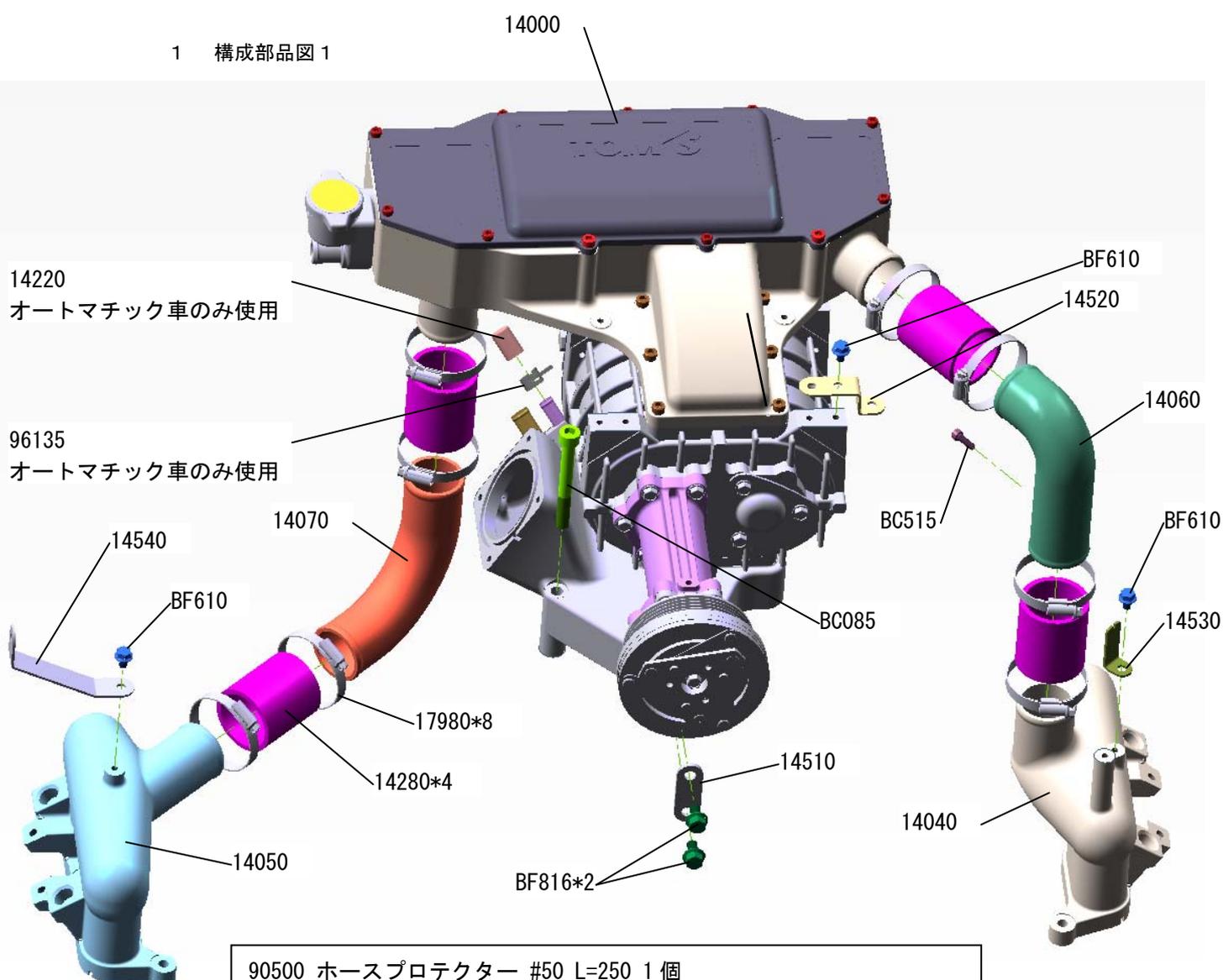
イラストNo.	品名	品番	個数	備考	
18010	コルゲートチューブ(耐熱タイプ)内径Φ10.3 L=300	18010	TZN60	1	
18020	結束バンド L=250mm	18020	TZN60	2	
18030	結束バンド L=165mm	18030	TZN60	10	
18040	ホースクランプ Φ20mm	18040	TZN60	2	
18050	コルゲートチューブ(耐熱タイプ)内径Φ7.3 L=150	18050	TZN60	1	
82216	アダプターハーネス	82216	TZN60	1	
82217	クラッチ・ウォーターポンプハーネス	82217	TZN60	1	
82218	コネクター	82218	TZN60	1	
9012A	ホースプロテクター #12 L=540	9012A	T0540	1	
9012B	ホースプロテクター #12 L=1000	9012B	T1000	1	
9012C	ホースプロテクター #12 L=140	9012C	T0140	2	
9019A	ホースプロテクター #19 L=750	9019A	T0750	1	
9019B	ホースプロテクター #19 L=1150	9019B	T1150	1	
9019C	ホースプロテクター #19 L=1200	9019C	T1200	1	
9019D	ホースプロテクター #19 L=1550	9019D	T1550	1	
90464	クランプ	90464	00410	2	
90467	インレット ホースバンド	16573	T3UZ0	6	トヨタ品番 90467-24002
90500	ホースプロテクター #50 L=250	90500	T0250	1	
96135	ホースバンド	96135	51300	7	トヨタ品番 96135-51300
BC515	キャップボルト(サス) M5x0.8x15	J1176	05015	1	
BC085	キャップボルト(サス) M10x1.25x85	J1176	10085	1	
BF610	フランジボルト M6x1.0x10	J1189	06010	6	
BF615	フランジボルト M6x1.0x15	J1189	06015	4	
BF816	フランジボルト M8x1.25x16	J1189	08016	2	
BH060	六角ボルト M10x1.25x60	J1180	10060	2	
BH065	六角ボルト M10x1.25x65	J1180	10065	1	
NF601	フランジナット M6x1.0	J1190	066A0	6	
NF001	フランジナット M10x1.25	J1190	0AAE0	1	
WP022	平座金	J1256	10022	3	
	ゴム栓			1	
非付属品	マニホールドガスケット	SU003	00290	2	
非付属品	インジェクターリング No. 2	SU003	00324	4	
非付属品	スロットルボディガスケット	SU003	00316	1	

【8】 構成部品図

ボルト・ナットについては以下のように付番します。

1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	5桁目
B: ボルト	F: フランジ	ネジ径、ワッシャー内径を示す 1-9: mm 0: 10mm A: 11mm B: 12mm以降アルファベットと対応	長さまたは外径2、3桁目 1-9: mm 0: 10mm A: 11mm B: 12mm以降アルファベットと対応	長さまたは内径 1桁目 0: 0mm 1-9: mm
N: ナット	C: キャップ			
	H: 六角			
W: ワッシャー	P: プレーン(平)			
	R: スプリング			
	L: ロックナット			

1 構成部品図 1



- 90500 ホースプロテクター #50 L=250 1個
- 18010 コルゲートチューブ Φ10.3 L=300 1個
- 9012C ホースプロテクター #12 L=140 2個 (マニュアル車のみ使用)
- 18020 結束バンド L=250 2個
- 18030 結束バンド L=165 2個
- 18050 コルゲートチューブ Φ7.3 L=150 1個

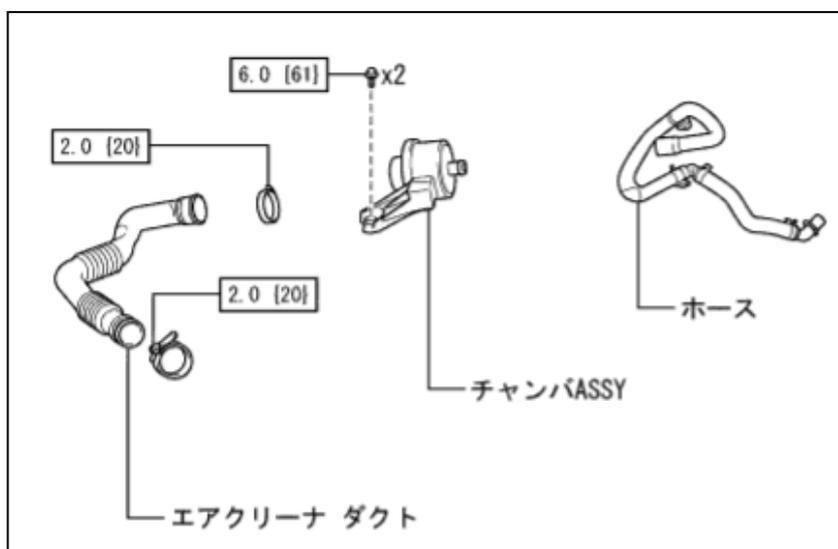
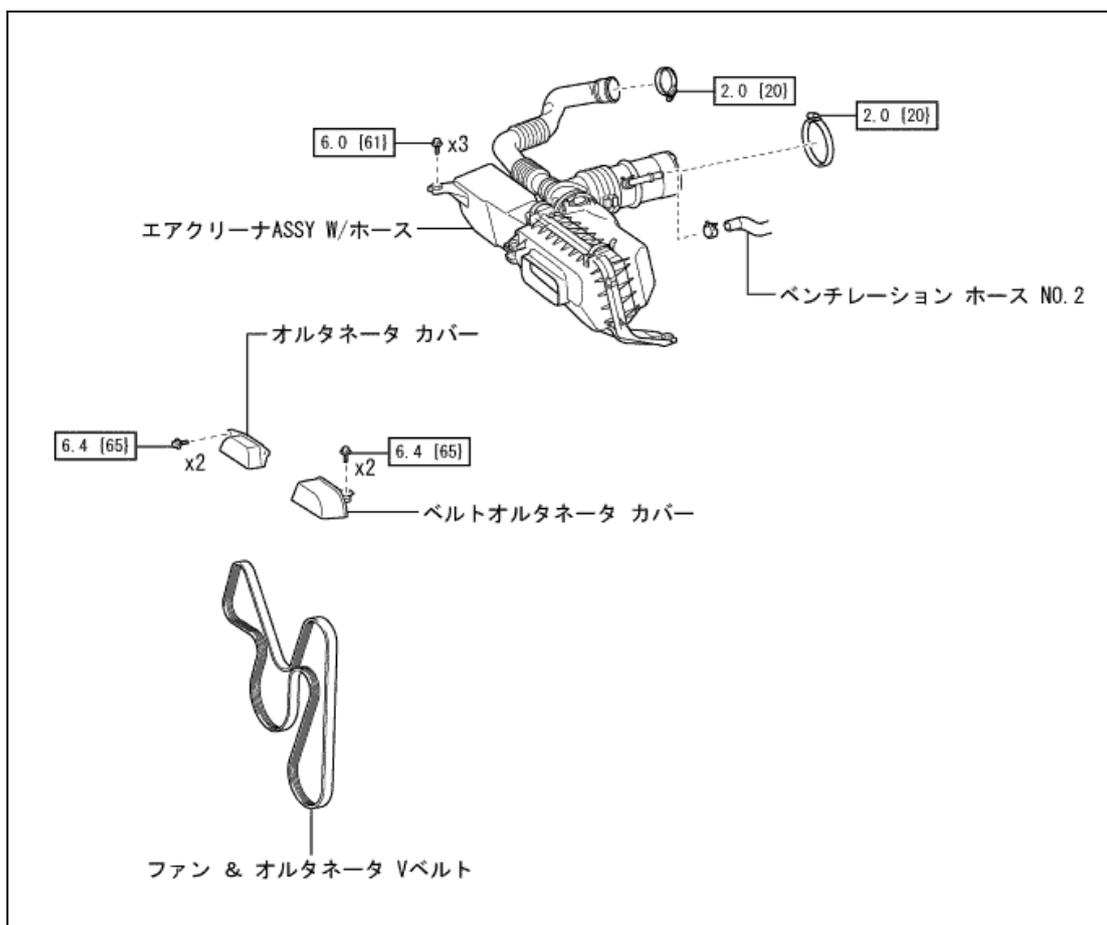
【9】 取り付け

【1】 純正部品はずし

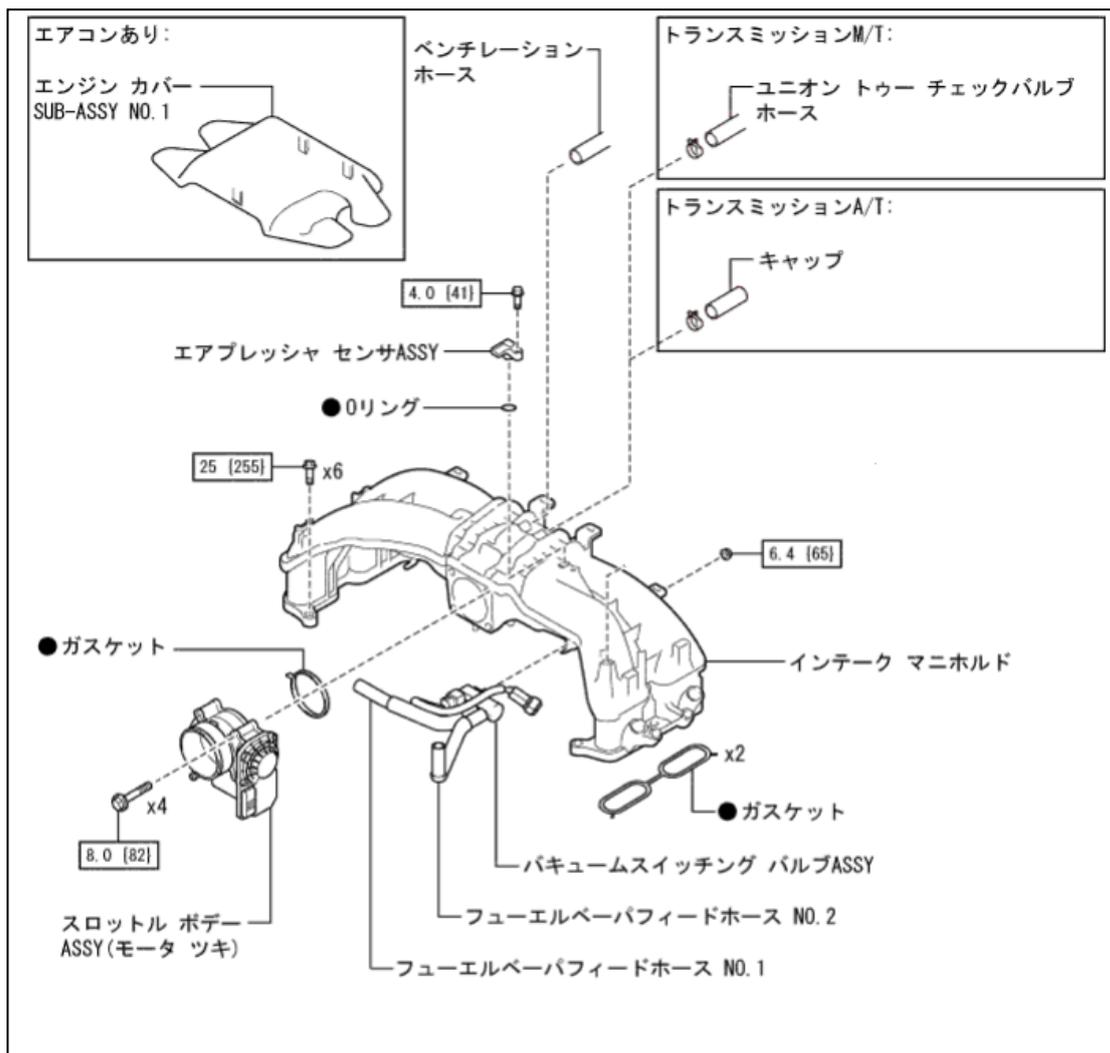
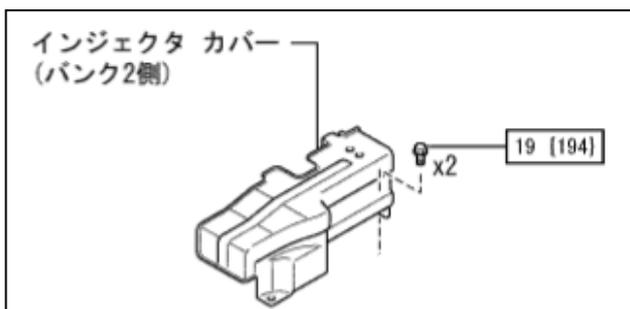
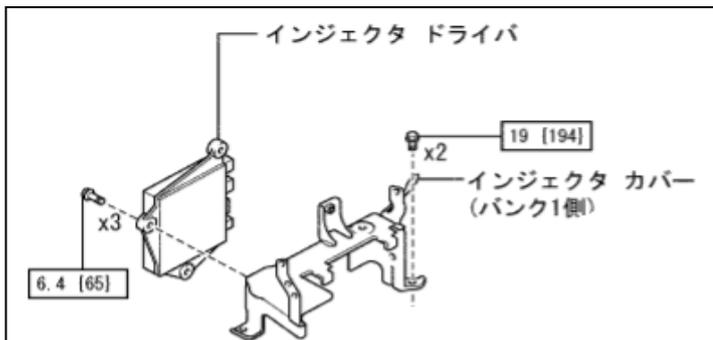
以下の図に従って純正部品等はずす

→ エンジン冷却水抜き取り

【脱着部品図1】

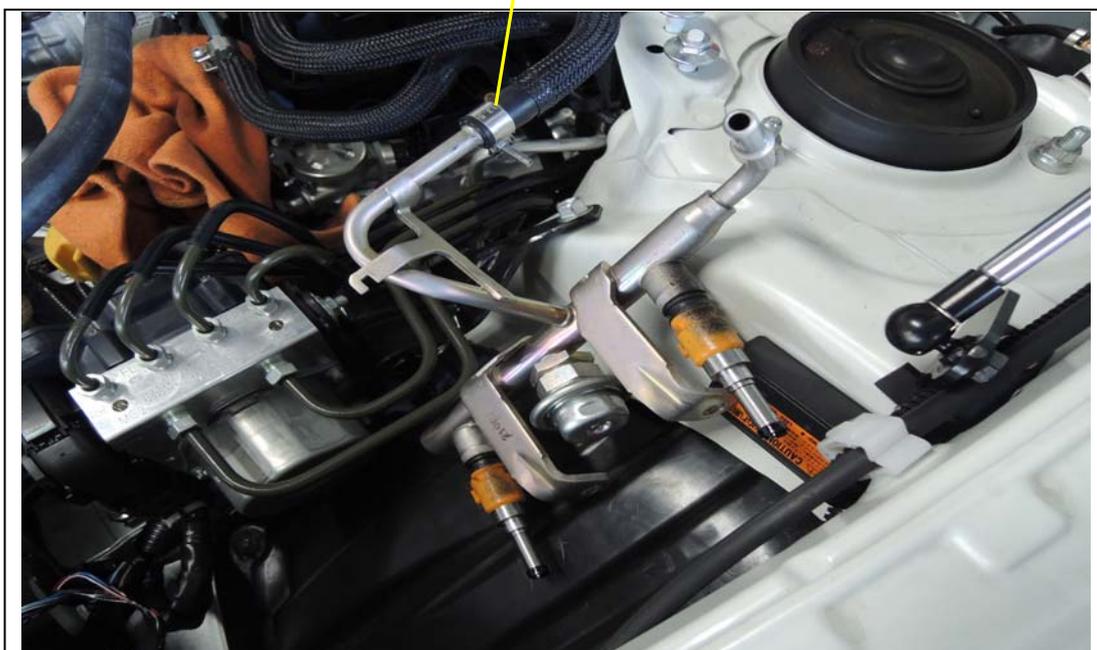


【脱着部品図 2】

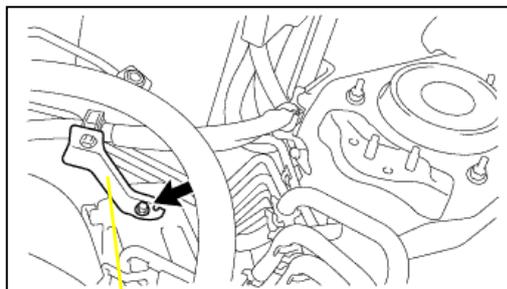
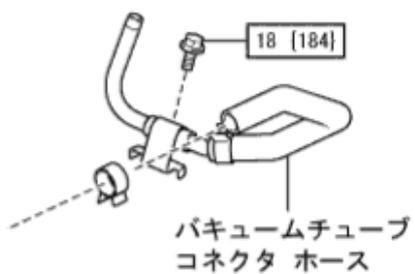


【脱着部品図 3】

※フューエルデリバリパイプ LH
とフューエルホースは取り外さないこと

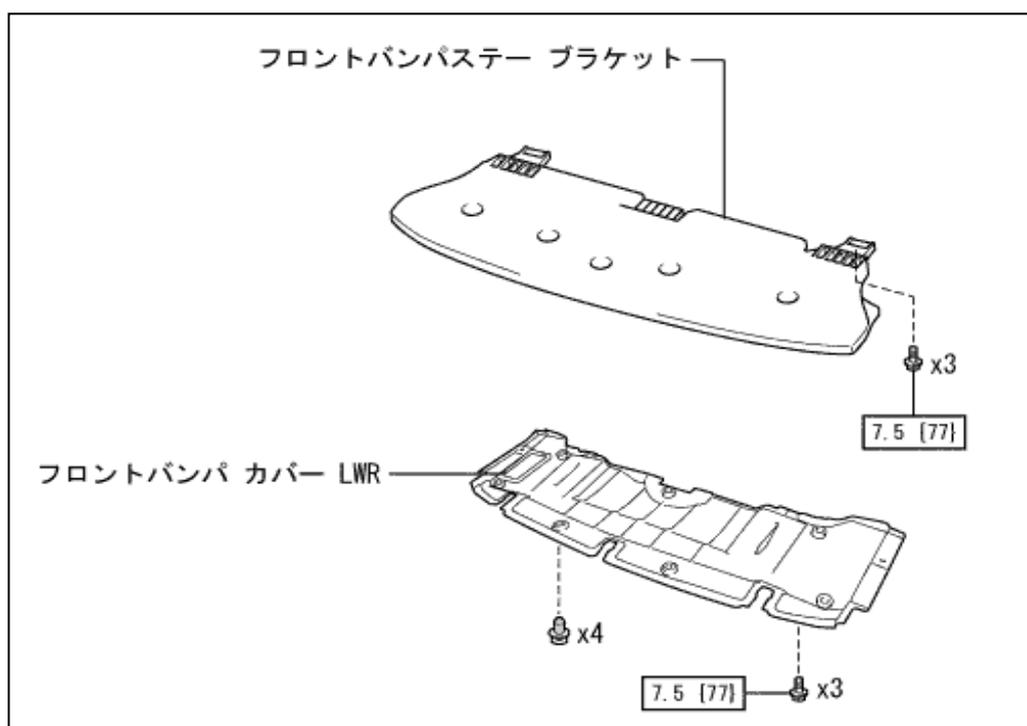
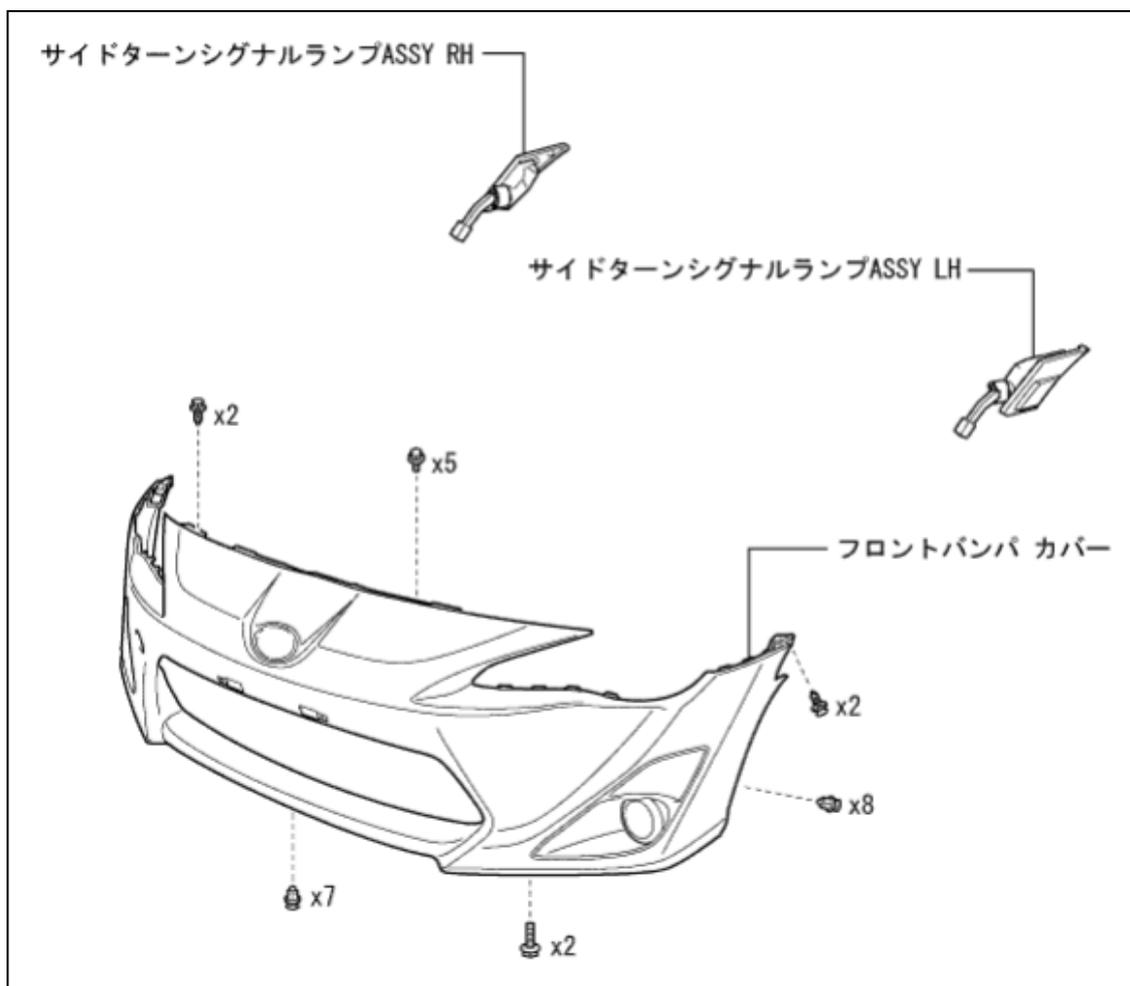


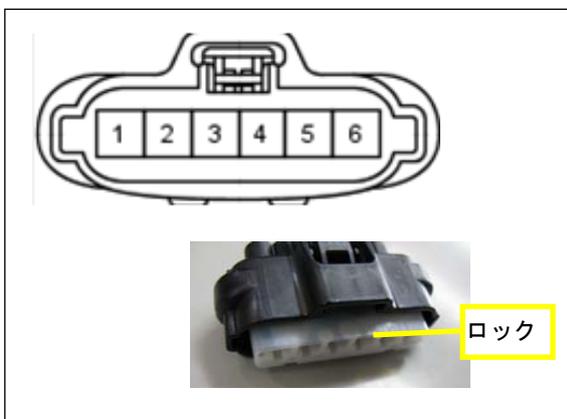
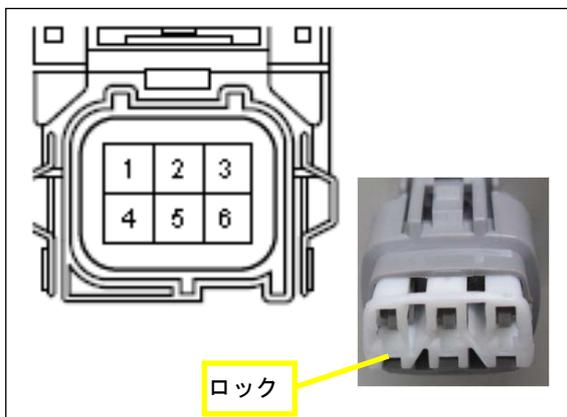
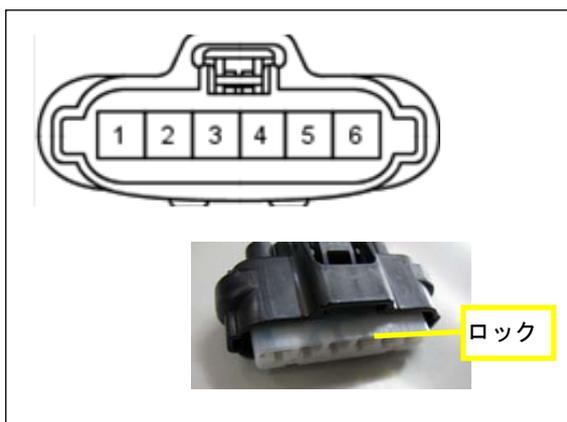
トランスミッションM/T:



ワイヤハーネスクランプブ
ラケット

【脱着部品図 4】





[2] 組み付け

1 スロットルボディハーネス延長

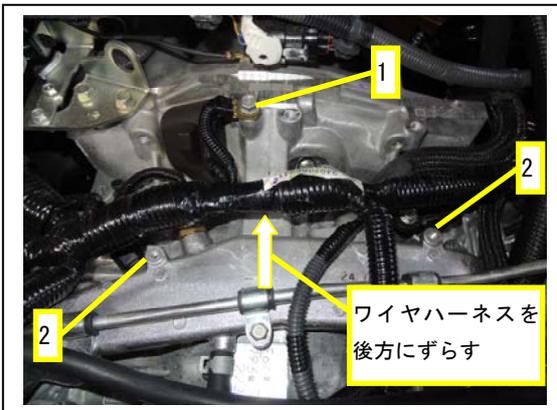
- 1) スロットルボディコネクタからターミナルを全てはずす
 - はずしたコネクタは再使用する
 - 白いロックを手前に引き（左図）、各ターミナルのランスをはずす
 - ⇒ **線色と番号（左図）がわかるようにしておく**
（白が2本あるため注意する）
 - ⇒ **番号はコネクタ側から見た図**
 - 1:白 2:赤 3:黒黄 4:白 5:青黒 6:白赤
- 2) 82218 コネクタに、はずしたターミナルを取り付ける
 - 白いロックを手前に引く（左図）
 - ⇒ **上記番号と左図のコネクタターミナル番号が一致するようにする**
 - ⇒ **番号はコネクタ側から見た図**
- 3) ロックを押し込む
- 4) 82218 コネクタを82216 アダプターハーネスに取り付ける
- 5) はずしたスロットルボディコネクタに 82216 ハーネスのターミナルを取り付ける
 - ⇒ **線色と番号に十分注意する**
 - ⇒ **番号はコネクタ側から見た図**
 - 1:白 2:赤 3:黒黄 4:黒 5:茶 6:ピンク
- 6) ロックを押し込む

2 チャンバホールメクラフタ取付

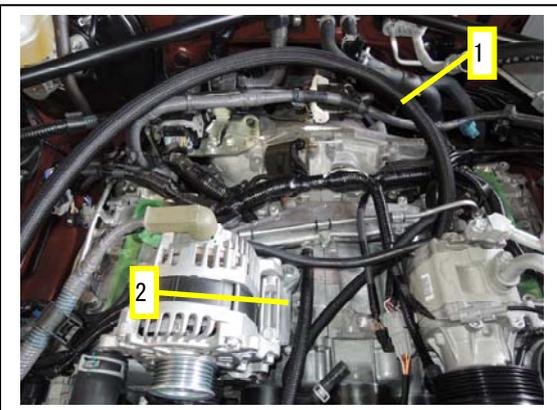
- 1) 脱着部品図2で取り外したチャンバホースの穴に（左図1）、車内側から付属のゴム栓を差し込む。（ワイヤーハーネスと同梱）



- 3 ヒータウォーターホースクリップのつまみ位置変更 (A/T車のみ)
- 1) 上向きに付いているヒータウォーターホースクリップのつまみ位置を、ワイヤハーネスに干渉しないように、前側に90°回転させる



- 4 アースターミナル位置変更、ワイヤハーネスクランプ取り外し
- 1) アースターミナル 2箇所止めを車右側にボルトを再使用して共締めする。
⇒再使用ボルト:T=19N. m(194Kgf. cm)。
 - 2) ワイヤハーネスクランプ 2箇所を取り外し、ワイヤハーネスを後方にずらす



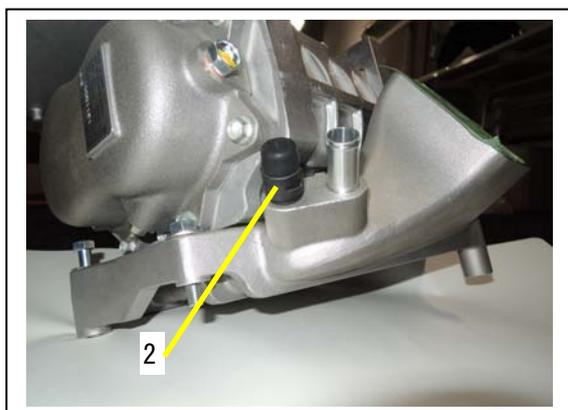
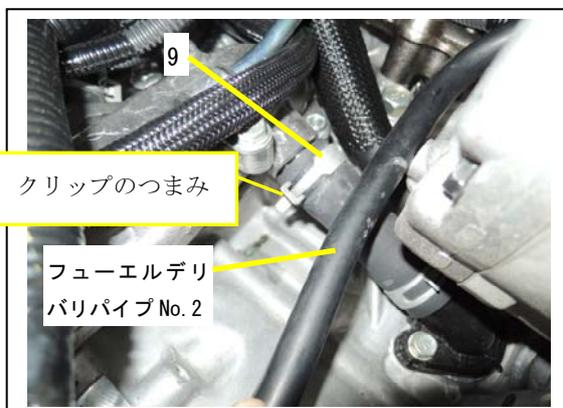
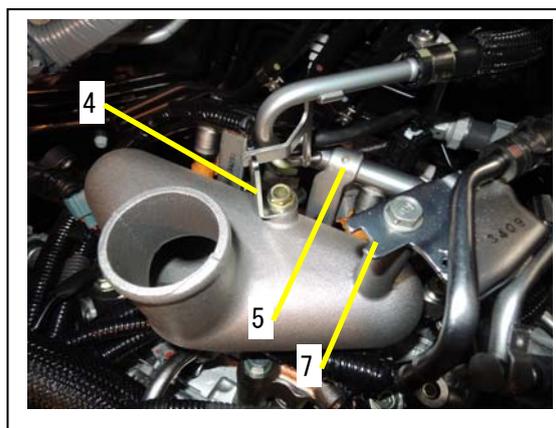
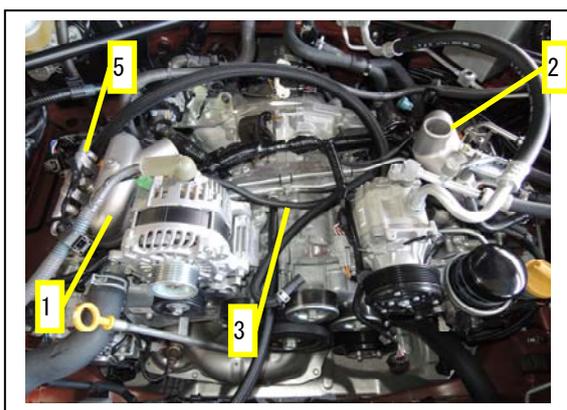
- 5 ベンチレーションホース No.2、ウォーターバイパスホース No.1 取り付け
- 1) ベンチレーションホース No. 2 を 14260 プリーザホースに交換する
→ 9019C プロテクター、18040 ホースクランプを取り付ける
 - 2) ウォーターバイパスホース No. 1 を 14250 ヒーターホースに交換する。
→ 9012A プロテクター、96135 ホースバンドを取り付ける



14260 は、フューエルデリバリーパイプの下に通す。

ウォーターバイパスホース No. 2 は、フューエルデリバリーパイプの下に通す。

フューエルデリバリーパイプ

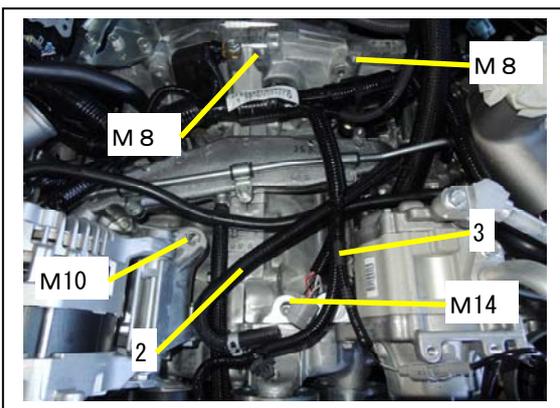


6 インテークマニホールド、フューエルデリバリパイプ取り付け

- 1) 14040 インテークマニホールド LH を、ボルトを再使用して取り付ける
⇒ ガasketは新品を使用する (SU003-00290)
⇒ 再使用ボルト: T=19N. m(194Kgf. cm)
- 2) 14050 インテークマニホールド RH を、ボルトを再使用して取り付ける
⇒ ガasketは新品を使用する (SU003-00290)
⇒ 再使用ボルト: T=19N. m(194Kgf. cm)
- 3) フューエルデリバリパイプ No. 2 を写真の位置におく
- 4) 14530 ステアーを BF610 ボルトにて取り付ける
→ 位置はフューエルデリバリパイプ LH に合わせる
⇒ BF610: T=6. 4N. m(65Kgf. m)
- 5) フューエルデリバリパイプ RH&LH を、ボルトを再使用して取り付ける
⇒ Oリングは新品を使用する
NO. 1 (SU003-00323) & NO. 2 (SU003-00324)
⇒ 純正インテークマニホールドにOリングの取り残しに注意する
⇒ 再使用ボルト: T=19N. m(194Kgf. m)
- 6) フューエルデリバリパイプ No. 2 をフューエルデリバリパイプ RH&LH に取り付ける
- 7) フューエルデリバリパイプ SUBassy を 14040 インテークマニホールド LH にボルトを再使用して取り付ける。
⇒ 再使用ボルト: T=6. 4N. m(65Kgf. m)
- 8) ワイヤハーネスカブラをすべて取り付ける。
- 9) 上向きに付いているウォーターホースクリップのつまみ位置を、フューエルデリバリパイプ No. 2 に干渉しないように回転させる

7 コンプレッサー部品取り付け

- 1) 14000 コンプレッサー-ASSY の Φ10mm ニップルに、14220 キャップおよび 96135 バンドを取り付ける。
(トランスミッション A/T のみ)



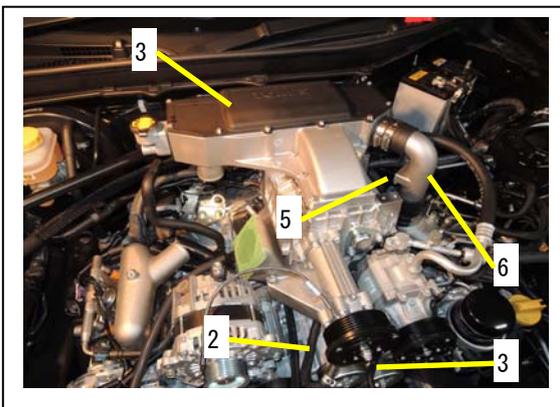
8 14000 コンプレッサーASSY 取り付け

- 1) オルタネータの M10 ボルト取り外す。
- 2) ウォータバイパスホース No. 2 を写真の位置に置く
- 3) ワイヤハーネスを写真の位置に置く
- 4) 14000 コンプレッサーに組みつけられた、M8*2, M14 ボルトと BC085 を使用して、写真の位置に取り付ける。

⇒M8:T=19N. m(194Kgf. cm)

⇒M14:T =80N. m(816Kgf. cm)

⇒BC085: T=36N. m(367Kgf. cm)

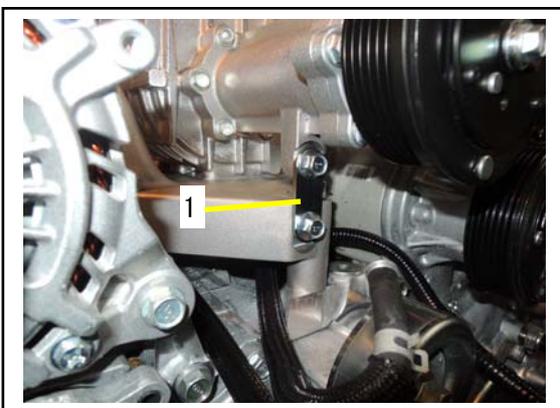


- 5) エアプレッシャセンサ（ノーマル インテークマニホールド上部に付いている）を BC515 を使用して 14060 インテークパイプ LHに取り付ける。

⇒BC515:T=4N. m(41Kgf. cm)

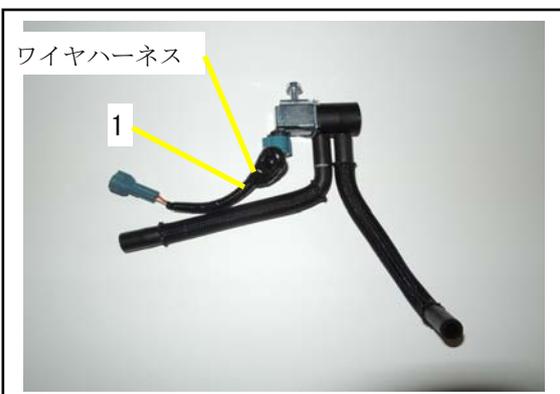
- 6) 14000 コンプレッサーに 14060 インテークパイプ, 14280 ホース (2個), 17980 クランプ(4個) をとりつける。

⇒クランプ:T=2N. m(20Kgf. cm)



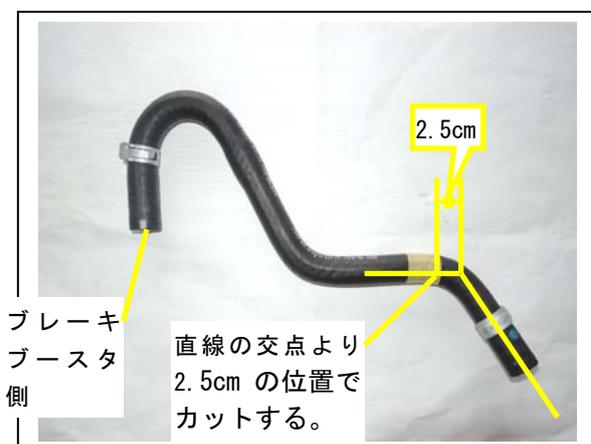
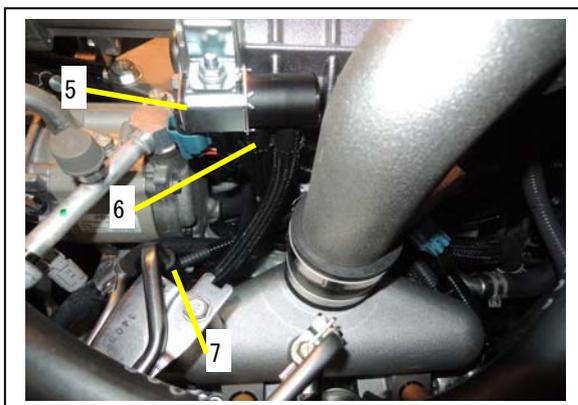
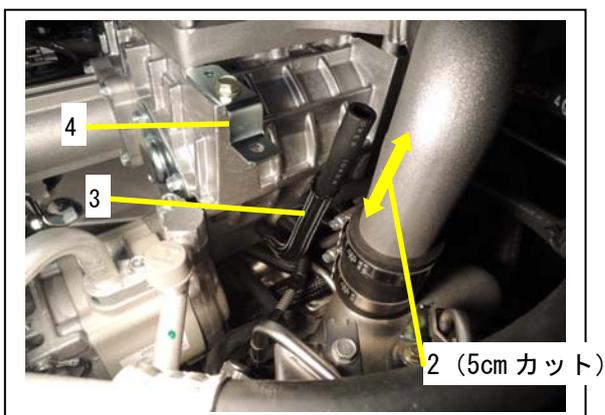
9 ステア取り付け

- 1) 14510 を BF816 にて取り付け。
- ⇒BF816:T=19N. m(194Kgf. cm)



10 VSV取り付け

- 1) VSVワイヤハーネスは使用しないので、取り外す。



- 2) フューエルバイパフィールドホース NO. 1 ホースの直線部長い方を 5cm カットする。ホース直線部短い方をコンプレッサー側にする。
- 3) V S V のフューエルバイパフィールドホース NO. 1 を 14000 コンプレッサーに取り付ける。
 → ホース直線部短い方をコンプレッサー側にする
- 4) 14520 ステアーを BF610 ボルト一個で取り付ける。
 ⇒BF615: T=6. 4N. m (65Kgf. m)
- 5) V S V を、ナットを再使用して 14520 ステアーに取り付ける。
 ⇒ナット再使用: T=6. 4N. m (65Kgf. m)
- 6) フューエルバイパフィールドホース NO. 1 を V S V に配管する。
- 7) フューエルバイパフィールドホース NO. 2 をフューエルデリバリーに配管する。

11 バキュームホース & バキュームチューブコネクタホース取り付け (トランスミッション M/T のみ)

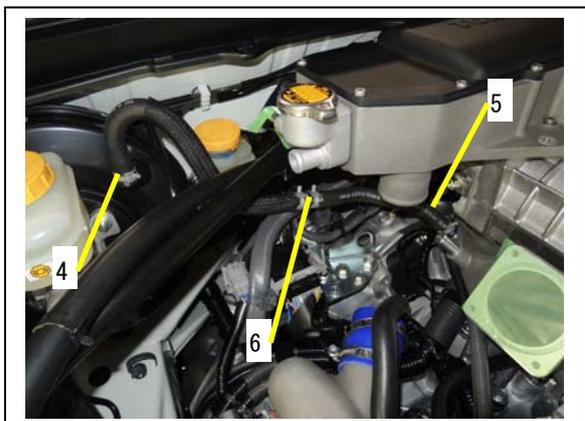
- 1) バキュームホース写真位置でカットして 90120 プロテクターをとりつける



- 2) バキュームチューブコネクタホース写真位置でカットして、90120 プロテクターを取り付ける

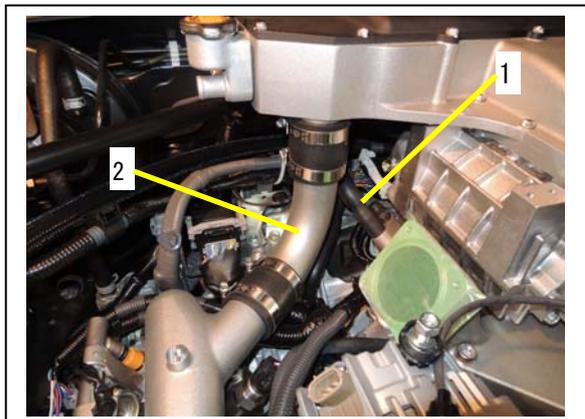


- 3) ワイヤハーネスを 18020 バンドで固定する。

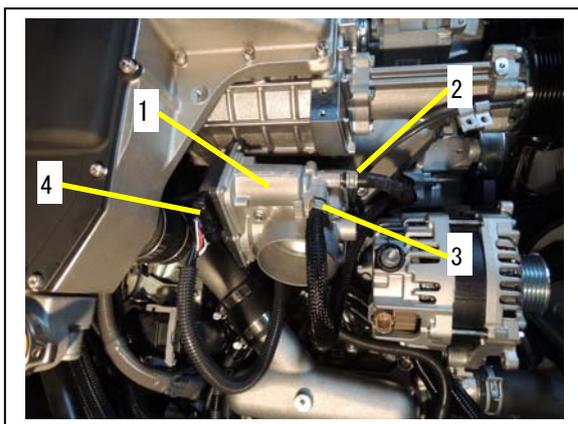


- 4) バキュームホースをブレーキブースタにクランプを再使用して取り付ける。
- 5) バキュームチューブコネクタホースのインテークダクト側を 14000 コンプレッサーのΦ10mm ニップルにクランプを再使用取り付ける。
- 6) バキュームホースとバキュームチューブコネクタホースを 17140 にてクランプ再使用で取り付ける
⇒ 他の配管、ワイヤハーネスに接触しないように、付属の結束バンドにて、他の配管、ワイヤハーネスを固定する

1 2 ベンチレーションホース、インテークパイプ RH 取り付け

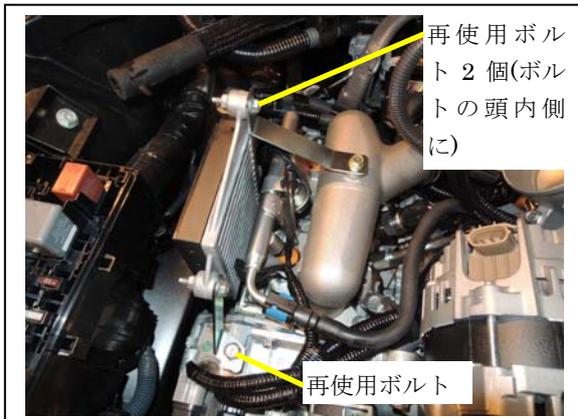


- 1) ベンチレーションホースを 14000 コンプレッサーのΦ14mm ニップルに取り付ける。
- 2) 14070 インテークパイプ RH, 14280 ホース (2 個), 17980 クランプ (4 個) を取り付ける。
→ (4070 インテークパイプ RH、直線部の長い方をインタクーラー側にする
⇒ クランプ:T=2N. m(20Kgf. cm)



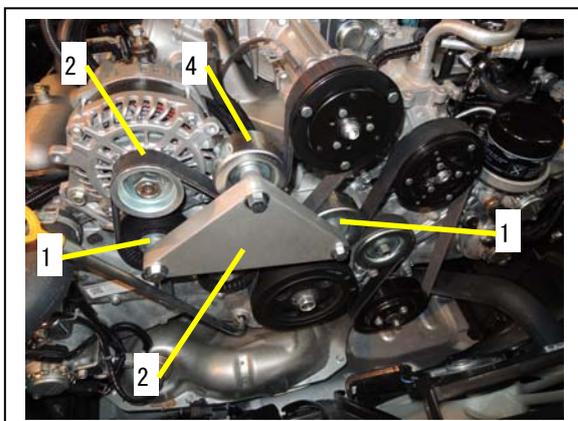
1 3 スロットルボディ取り付け

- 1) スロットルボディを、ボルトを再使用して取り付ける。
⇒ ガasketは新品を使用する (SU003-00316)
⇒ 再使用ボルト:T=8N. m (82Kgf. cm)
- 2) ウォータバイパスホース NO. 2 を、クランプを再使用して取り付ける。
- 3) 14250 スロットルヒータホースを 96135 バンドで取り付ける。
- 4) 延長したスロットルボディハーネスを取り付ける。



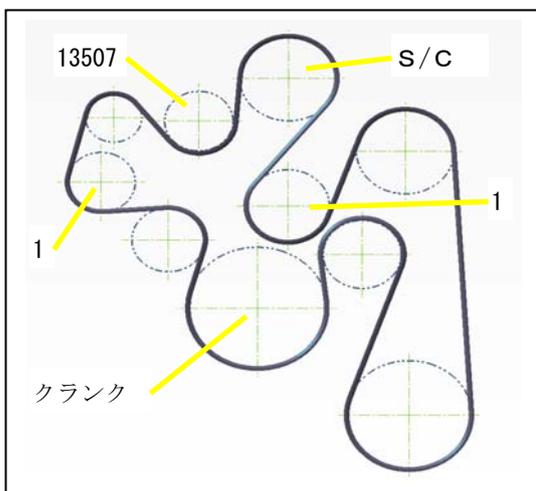
1 4 インジェクタードライバー取り付け

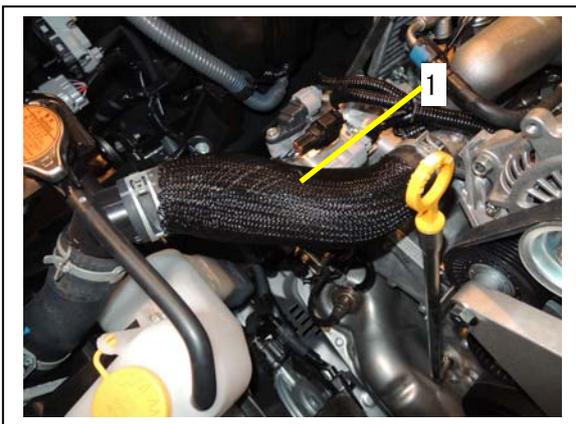
- 1) インジェクタードライバーを 14540 ステア, 14550 ステア, BF610 ボルト, NF601 ナット (2 個), 純正ボルトを再使用してとりつける。
⇒ BF610:T=6. 4N. m (65Kgf. m)
⇒ 再使用ボルト M6:T=6. 4N. m (65Kgf. m)
⇒ 再使用ボルト M8:T=19N. m (194Kgf. m)



1 5 アイドルプーリー、Vベルト取り付け

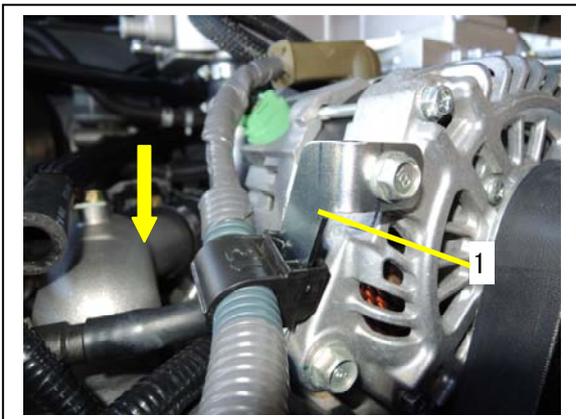
- 1) 写真位置のアイドルプーリー NO. 1, NO. 2 のノーマルボルトを取り外す。
- 2) 16361 Vベルトを仮にセットする。
- 3) 14110 アイドルプーリーブラケットを BH060 ボルト, BH065, WP022 ワッシャー (2 個) にて、アイドルプーリー NO. 1, NO. 2 およびアイドルプーリーカバーの上に取り付ける。
⇒ BH060, BH065: T=36N. m (367Kgf. cm)
- 4) 14110 アイドルプーリーブラケットに 13507 アイドルプーリー, 16659 カバーを BH060 ボルト, WP022 ワッシャー, NF001 ナットで取り付ける。
⇒ BH060, NF001: T=36N. m (367Kgf. cm)
- 5) 16361 をセットする。





16 ホースプロテクタ取り付け

- 1) ラジエーターインレットホースに 90500 プロテクターを取り付ける。



17 ワイヤハーネスステイ取り付け

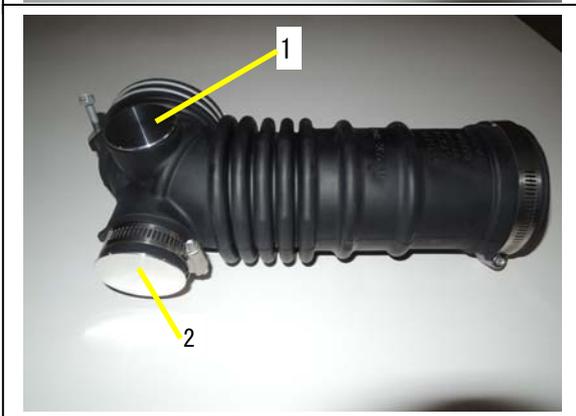
- 1) 14560 ステイを再使用ボルトにてオルタネーターに取り付けワイヤハーネスを取り付ける（ワイヤハーネスが一番下の位置に取り付ける）。

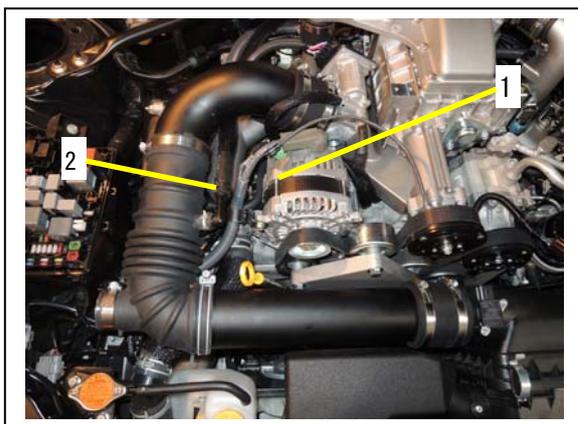


18 エアクリーナホース追加

- 1) エアクリーナホースのレゾネータ差込口をカットし、14320 キャップを一番奥まで差し込む。
- 2) 14310 キャップをクランプを再使用して取り付ける。

⇒ 再使用クランプ:T=2N. m(20Kgf. cm)





19 エアクリーナ、エアクリーナホース、エアインレットダクト取り付け

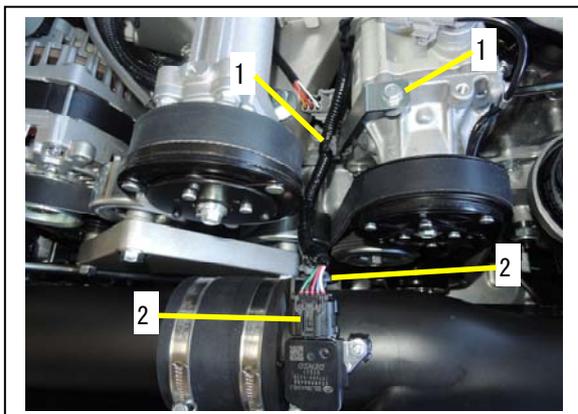
- 1) エアクリーナ, エアクリーナホース, 14810 ダクト, 14820 ダクトをボルト再使用, ホースクランプ再使用, 14290 ホース (2 個), 17990 クランプ (4 個) で取り付ける。

⇒ 再使用ボルト: T=6N. m (61Kgf. m)

⇒ 再使用クランプ, 17990: T=2N. m (20Kgf. cm)

⇒ 14810 直線部の長い方をスロットルボディ側にする

- 2) 14260 ホースを 18040 クランプでエアクリーナホースに取り付ける。



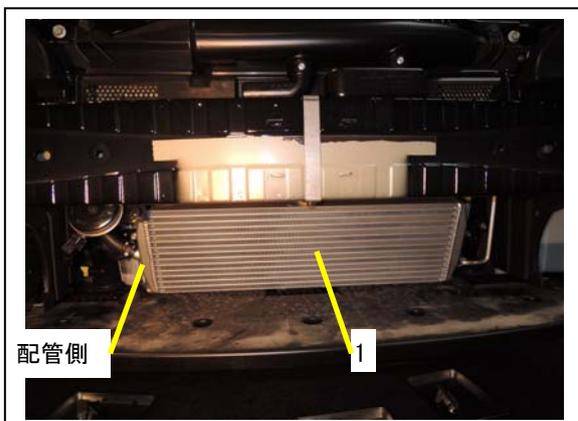
20 ワイヤハーネスステー取り付け

- 1) 14570 ステーをボルトを再使用してコンプレッサーに取り付け、ワイヤハーネスを取り付ける。

⇒ 再使用ボルト: T=6. 4N. m (65Kgf. m)

- 2) インテークエアフロメータのカプラとワイヤハーネスを取り付ける

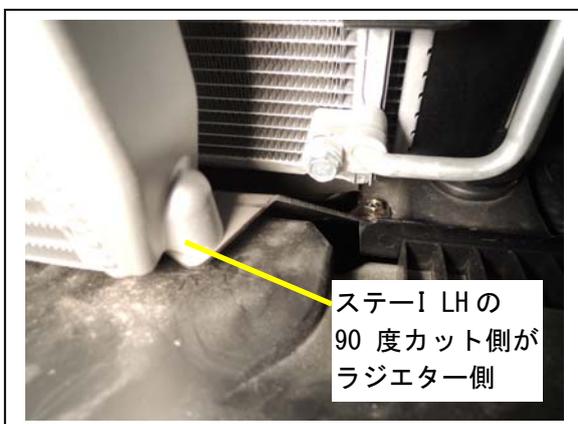
⇒ ワイヤハーネスがベルト、プーリに接触しないように注意する

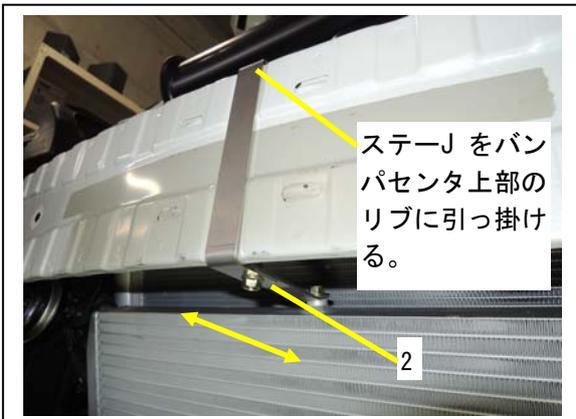


21 17960 ラジエター取り付け

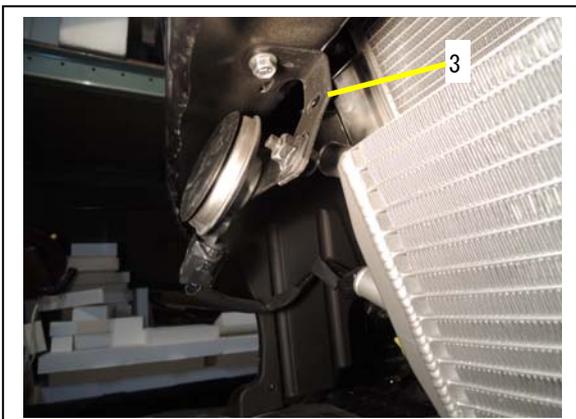
- 1) 17960 ラジエターを 14590 ステー, 14591 ステー, 14600 ステー, 14610 ステー, BF610 ボルト (3 個), BF615 ボルト (3 個), NF601 ナット (3 個) を使用して取り付ける。

⇒ BF610, BF615: T=6. 4N. m (65Kgf. m)

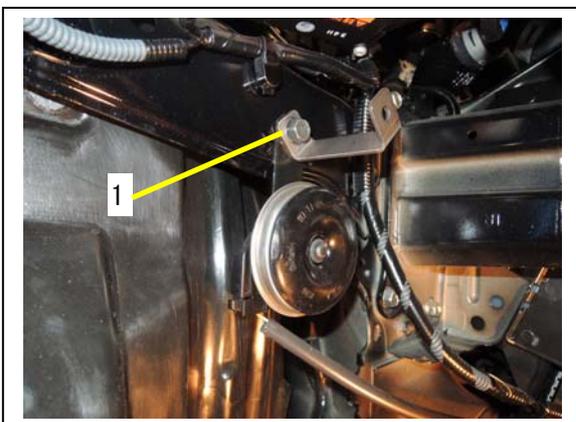




- 2) 14600 ステアと 14610 ステアで矢印方向にバンパを挟み込み（プライヤーで挟む）、固定された所でBF615, NF601を締める。
⇒BF615: T=6.4N.m(65Kgf.m)



- 3) 内側ホーン取り付けボルトとラジエターの隙間を10mm程度になるようにホーン取り付けブラケットを手前に曲げる。



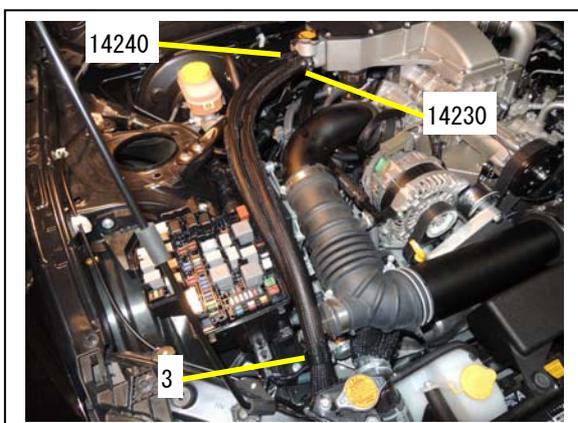
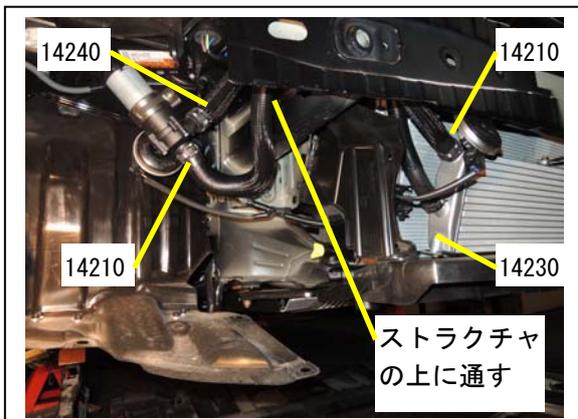
2.2 ウォータポンプステイ取り付け

- 1) 外側ホーンにボルトを再使用して14580を取り付ける。
⇒ 再使用ボルト: T=18N.m(184Kgf.m)



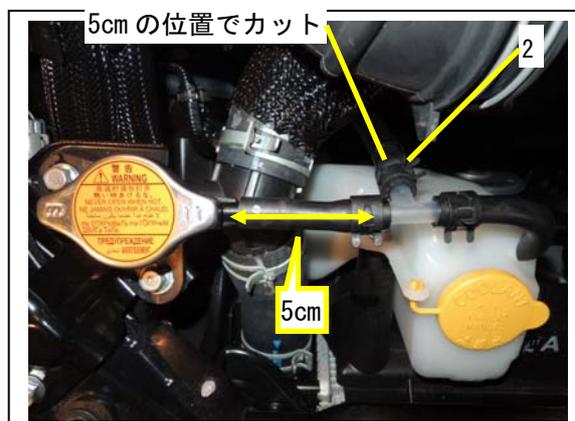
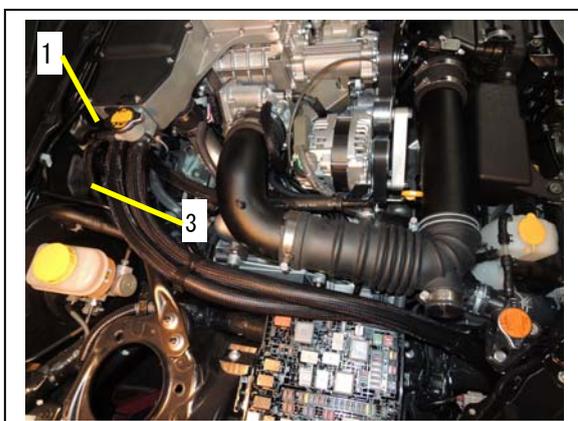
2 3 ウォーターポンプ、インタークーラホース取り付け、

- 1) 16290 ウォーターポンプを 17975 クランプ, BF615 ボルト, NF601 ナットを使用して 14580 ステアに取り付ける。
⇒ BF615: T=6.4N.m(65Kgf.m)
- 2) 14210 ホースと 9019A プロテクター, 14230 ホースと 9019D プロテクター, 14240 ホースと 9019B プロテクター, 90467 バンド (6個)にて配管する。
- 3) 90464 クランプ(2個)にて、インタークーラホースをまとめる。



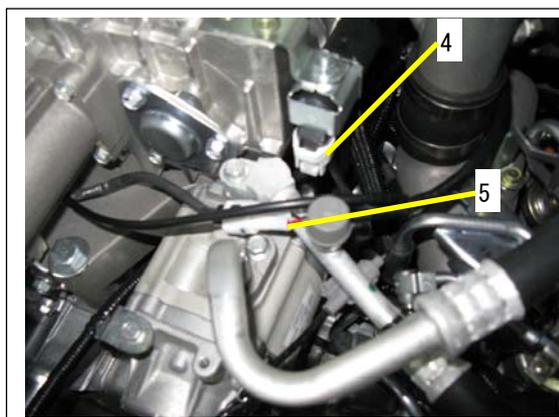
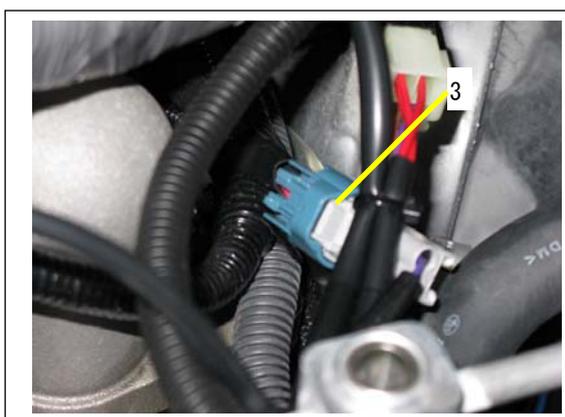
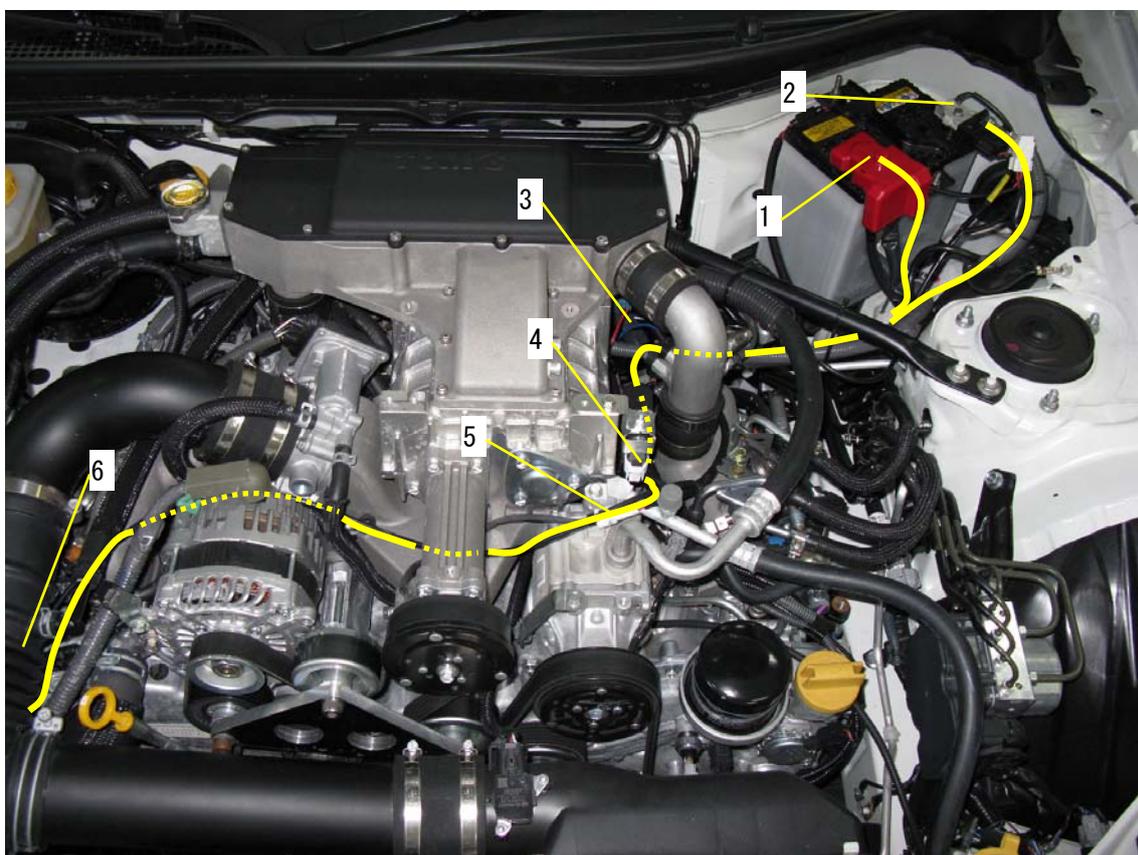
2 4 リザーバホース取り付け

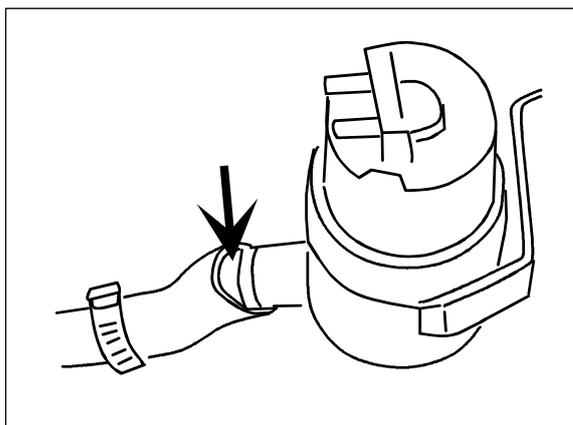
- 1) 14270+9012B を 96135 にて、フィラキャップ横のΦ10mm ニップルに配管する(インタークーラホースの下に通す)。
- 2) リザーブタンクホースを写真位置でカットし、14270+9012B を 17956, 96135 (3個)にて配管する。
- 3) バキュームホースに絶対に接触しないようにタイラップでこていすること。



2.5 クラッチ・ウォーターポンプハーネス取り付け

- 1) 82217 クラッチ・ウォーターポンプハーネスを下図を参照して配線する
- 2) 以下の丸端子、コネクターを接続する
 - 1 : +丸端子→バッテリーターミナルプラス
 - 2 : -丸端子→バッテリーターミナルマイナス
 - 3 : エンジンワイヤーハーネス
 - 4 : VSV
 - 5 : コンプレッサー マグネットクラッチ
 - 6 : ウォーターポンプ





26 インタークーラーウォーター注入

- 1) ヘッダータンクから冷却水（L L C 5 0 %）を入れる
 - 2) ウォーターポンプ側のアウトレットホースの上側を少しはずしてエアを抜きホースを戻す
- ⇒ 冷却水が出てきてエアがない状態まで冷却水を流す
- ⇒ この位置にエアが残るとポンプの「カラ打ち」が発生し、ポンプが異音の発生やヒートしたり水が回らない場合があるため十分エアを抜く
- ⇒ ヘッダータンクの泡が完全になくなるまでエア抜きをする
- ⇒ タンクの冷却水が動いていることを確認する
- 3) ヘッダータンクいっぱいまで補充する
- ⇒ キャップテスターを使用して冷却水の漏れを点検する（満水にした状態で 137kPa（1.4 Kg/cm²）の圧力をかける）

27 冷却水注入

- 1) エンジン冷却水を入れ、エア抜きをする

28 純正部品取り付け（脱着部品図参照）

- 1) パンパー等純正部品をを取り付ける

29 各部確認

- 1) エンジンを始動して、アイドリングし、ベルトの干渉などがいないか確認する
 - ⇒ 特にエンジン始動時や、レーシング時にベルトの干渉がないか確認する
- 2) アイドリングが安定しない場合は、エンジン ECU の学習値が安定するまで、アイドル放置および走行する
 - コンプレッサーの過給は走行時の音（約 2000 r p m ぐらいからキーン音）で確認する
 - 軽いレーシングで過給はしない。
 - ⇒ 走行後ガソリン、冷却水の漏れ等を点検する



【発売元】株式会社 トムス
東京都世田谷区等々力6-13-10
TEL 03-3704-6191

2014/3/30 発行